

あすぴあ登録団体 & 市民活動団体の紹介

こんな活動をしています

Vol.
48

あすぴあ広報部会が
取材しています。



注釈

- *1……『なぜ日本は原発を止められないのか?』(文春新書)の著者
- *2……2026年3月に青木美希さん講演会を予定
- *3……請願「運転開始から40年を超えた東海第二発電所の運転延長を行わないことを求める意見書の提出について」

さよなら原発 オール小平をめざす会

東日本大震災から14年が経っても、原発の廃炉作業は進んだとは言えず、いまだに多くの人たちが避難生活をしているのが現実です。原発の危険性を訴え続けてきた会の世話人である村瀬喜之さんに聞きました。

会の設立は2011年。福島の子供たちにアレルギー症状がでたり、小平でも放射能の数値が高かったりしたので、活動を始めました。萩山団地・小川団地に声をかけて賛同する人たちが集まりました。

最初から村瀬さんたちは活動を長く続けようと思っていたので、大きなイベントを1回するよりも、毎月1回のイベントをしようと決めました。毎月、YouTubeなどの映像を小平元気村おがわ東の一室で見えています。参加者を会員とみなし、参加者たちで次の映像を決めます。村瀬さんのパソコン映像をプロジェクターで大きくして見るという簡単な装置なの

で、続けることができます。「肩の力を抜いてしないと(活動は)長続きしない」「続けてきたことに意義を感じる」と村瀬さんは遠くを見ながら静かに語りました。

会費はとらず、カンパをつのり、連絡はLINEを使い、青木美希さん講演会(*1)のようなときには資料代をとるという工夫をしています。活動が10年目に入った2021年からは、毎月11日に花小金井駅前と小平駅前で「自然エネルギーに変えていこう」という運動もしています。また、「西武線沿線さよなら原発連合」に参加して、年初めの日曜日に新宿区でデモ行進もしています。毎年、小平市中央公民館で開催される「忘れない3.11展」にも参加し、福島県人会と小平・環境の会との3者共催で福島に関係する人の講演会を開催してきました(*2)。

「忘れない3.11展」企画 武藤類子さん(原発事故被害者団体連絡会共同代表)講演会の様子(3月15日)



「さよなら原発、自然エネルギーへ」とよびかける小平駅前の宣伝



原発の問題を取り上げる報道が少なくなったことに気づき心配してきた村瀬さんたちは、2019年、請願を小平市議会へ出し、採択されました(*3)。ハンドマイクで話すとき、道ゆく人たちの反応が少ないことを村瀬さんは嘆きます。が、孫たちや後世の人たちに「あのとき何をしていたのか」と言われたいために行動する、と言います。署名運動による活動場所の存続が市議会で示されたこともあり、これからも活動は続きます。(谷)

DATA

活動場所●小平元気村おがわ東
連絡先●090-4947-5393(村瀬)
メール●ymurase@kce.biglobe.ne.jp

上宿盆踊り部(上宿Bomb!)

上宿公民館主催の「盆踊り講座」の受講生だった小橋真美さんら3名を中心に2020年に発足した「上宿盆踊り部」。現在、毎月第2土曜の午後6時から9時まで活動しています。その練習の様を見学しながら、話を伺いました。

コロナ禍を経て、夏の夜を彩る盆踊り大会がめっきり減ってしまいました。代表の小橋さんは「地域の枠を超えた踊りの交流を小平から発信したい」と活動しています。元気村まつりでは「一緒に踊りましょう」と盆踊りコーナーを設け、まつりのフィナーレは参加者、スタッフ大勢で輪になって踊り、大いに盛り上がりました。

この日の参加者は12人。「小平音頭」「新こだいら音頭」から「マツケンサンバ」、サザンの「盆ギリ恋歌」、ディズニーの「ジャンボリーミッキー」まで。軽やかな手さばき、足さばき、ダイナミックな動き、30代から70代のみなさんのエネルギーに圧倒されました。「このサークル



▲代表の小橋さん(左)と菊地さん

は自由で、雰囲気がよくて大好きです」と盆踊り歴6年の女性。「浴衣を着たいから始めたんですよ。去年は岡山まで行って『うらじゃ』を踊りました」というのはこの日が初参加で、新宿から来たとい

みんなで輪になって練習中 ▼



う40代の男性。世話役の菊地ゆみさんはインド旅行の際、地元のダンスのお返しに、即興で「炭坑節」を歌いながら踊ったところ、大いにウケたそうです。盆踊りに国境はないのですね。

このサークルの特色は多摩地域各市町村にある音頭を拾い上げ、動画を見たり、現地で習ったりして振り付けを覚え、皆で踊ること。昨年に続き今年も「多摩じまん盆踊りの集い」と題して、元気村の多目的室で公開練習会を実施しました。市外からも大勢の参加があり、「昭島サンヤレ節」、「東村山音頭」、「愛の街稲城」など、実に33曲もの音頭を踊ったのです。

みなさんの夢は広いグラウンドで、大盆踊り大会を主催することとか。ぜひ実現させてほしいものです。7月19、20日には花小金井南公民館グラウンドで開催の盆踊り大会に出演予定です。部員随時募集中！ (ま)

DATA

活動場所●上宿公民館・小川公民館
連絡先●080-2258-6417(小橋真美)
メール●mambosalsa584@gmail.com

小川シン・公共施設&プロジェクト

小川駅西口駅前に建設中の27階建て高層ビル。その4階・5階に5つの公共施設が移転することをご存じでしょうか。

入居するのは小川西町図書館、小川西町公民館、小平市民活動支援センターあすぴあ、小平市男女共同参画センター“ひらく”、小平市役所西部出張所の5施設。「小川シン・公共施設&プロジェクト」は、この複合施設建設の気運醸成を目的として市民が作った会です。

はじめは、小川西町公民館主催講座「地域で共に創る新しい公共施設」(2023年10月~2024年3月)でした。受講した市民が、「せっかくの施設建設を市民にもっともっと知ってもらおう、出来上

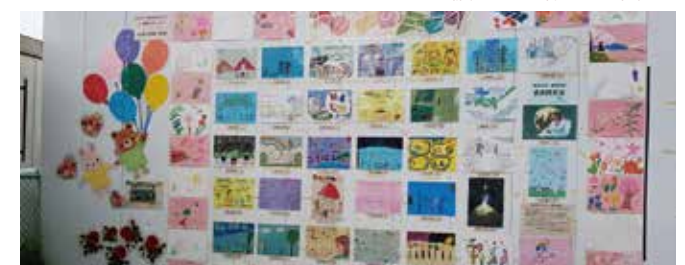


▲ワークショップの様子

がった施設をだれがどんなふうに利用するかどんどん意見を出してみよう」という趣旨で作ったサークルです。

まずは、「知ってもらおう」ことを目指して、2024年11月「小川駅西口に、再開発ビル建設中 工事現場の「仮囲い」にみ

仮囲いに貼った絵 ▼



んなの絵を飾っちゃおう!というワークショップをしました。幼児から高齢者まで、近隣の中学・高校の生徒も参加してのイベントです。

これからできるビルの説明を聞いてもらい、「完成したらどんなふうに利用したいか」を思い思いに絵で表現しました。描かれたたくさんの絵は、小川駅西口を出た左側の白い仮囲いに一面に貼ってあります。

ビルの完成は、2026年夏。同年秋ごろには開館ということで、これから1年とちょっと、楽しい企画をいっぱい立てたいと、メンバー同はりきっているところです。

市の「いきいき協働事業」に応募し、2026年夏には、イベントを開催する予定とのこと。(い)

DATA

活動場所●小川西町公民館
メール●kazama.yoshio@outlook.jp
HP●https://kodaira-navi.net/jact.cgi?no=80
[小平市民活動支援センターこだいら市民活動ナビ]